

## 大野市上打波におけるツマジロウラジャノメの採集記録

吉田 理玖・吉田 竜大\*

A record of *Lasiommata deidamia* (Eversmann) at Ono City, Fukui Prefecture

Riku YOSHIDA & Tatsuhiro YOSHIDA\*

(要旨) 大野市上打波で2025年9月7日にツマジロウラジャノメ1♀を採集した。

キーワード：ツマジロウラジャノメ, 上打波, 大野市

ツマジロウラジャノメ *Lasiommata deidamia* (Eversmann) はタテハチョウ科に属する中型のチョウである。本種は低山地～山地や河川上流部の植生のあまりない露岩地に生息し、幼虫はヒメノガリヤス *Calamagrostis hakonensis* やタカネノガリヤス *Calamagrostis sachalinensis* を食草としている。国内では、北海道、本州、四国に分布しているが、生息地は局所的である(日本チョウ類保全協会, 2019)。

福井県内では、古くは1933年に大野郡石徹白村(現在の岐阜県白鳥町石徹白)で戦前の記録があり(福井県博物学会, 1938)、また近年では、1993年に大野市伊勢や1981年に大野市小谷堂でも採集記録が残っている(下野谷・浅野, 1998)ほか、南越前町や勝山市法恩寺山でも確認されている(福井県安全環境部自然環境課, 2016)。しかし、分布が局所的であることに加え、崩壊防止等の工事によって崖の環境が失われていると考えられていることを理由に、福井県域では絶滅危惧Ⅱ類に選定されている(福井県安全環境部自然環境課, 2016)。

筆者らは、大野市上打波において本種を採集したので、下記の通り報告する。

ツマジロウラジャノメ *Lasiommata deidamia* (Eversmann)

福井県大野市上打波, 1♀, 7-IX-2025, 吉田理玖採集・保管(図1)

本種を採集したのは、大野市上打波の車道脇の地点である。近くに治山工事の現場があり、山肌が削られて岩が露出していた。11時頃に付近を通りかかった際に、自動車の前を横切る本種を見つけたので、すぐに捕虫網で採集した。

本種は植生のほとんどない崖などの特殊な環境を好んで生息するため、崩壊防止の工事などの影響で生息環境が失われ、各地で減少傾向にあるとされる(日本



図1：大野市で採集したツマジロウラジャノメの♀  
(大野市上打波, 2025-IX-7, 吉田理玖採集・保管)

チョウ類保全協会, 2019)。大野市の打波川流域は溪谷沿いに岩が露出した場所が点在しており、本種の貴重な生息地と考えられる。県内での本種の生息状況を明らかにするため、今後の調査の継続が必要である。

### 謝辞

本稿の投稿にあたり、様々な便宜を図っていただいた福井市自然史博物館の梅村信哉氏に御礼申し上げます。

### 引用文献

福井県安全環境部自然環境課編, 2016, 改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物。福井県安全環境部自然環境課, 536p.

福井県博物学会編, 1938, 原色福井県昆虫図譜。福井県博物学会, 42p+75 pls.

日本チョウ類保全協会編, 2019, フィールドガイド増補改訂版 日本のチョウ。誠文堂新光社, 343p.

下野谷豊一・浅野裕治, 1998, チョウ目 LEPIDOPTERA, 福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会編, 福井県昆虫目録(第2版), 福井県県民生活部自然保護課, pp.441-556.

\*福井市自然史博物館友の会 〒918-8006 福井市足羽上町147(友の会事務局)

Friends Membership of Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami, Fukui City, Fukui, 918-8006, Japan

